

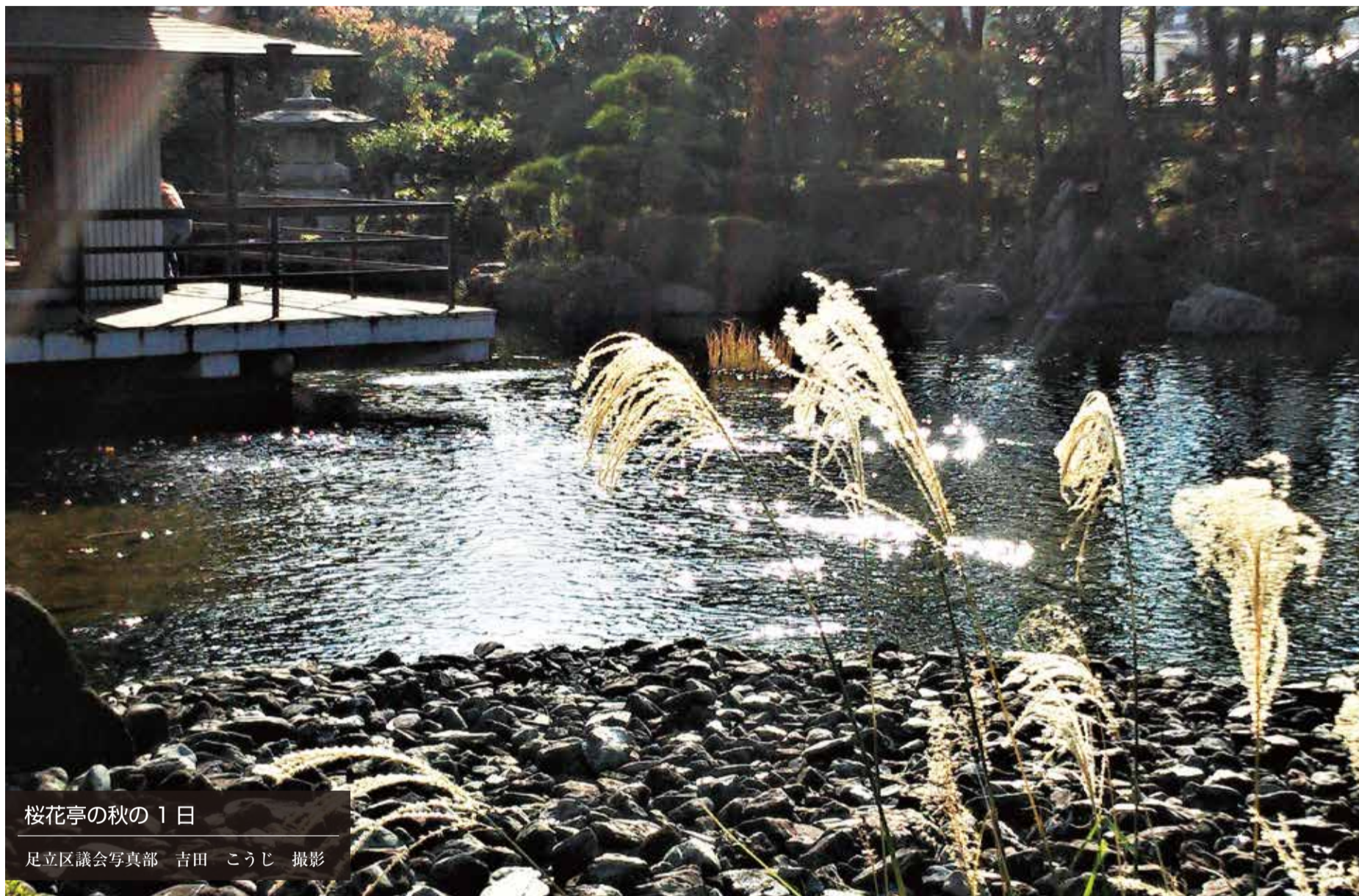


足立区議会だより

発行/足立区議会 ☎03(3880)5996(直通)
http://www.gikai-adachi.jp No. 289

第 3 回 定例会

再生紙を使用しています



桜花亭の秋の 1 日

足立区議会写真部 吉田 こうじ 撮影

区長提出議案

平成 29 年度足立区一般会計歳入歳出決算を認定

(決算概要は 8 面掲載)

議員提出議案

住民票の除票及び戸籍の附票の除票の 保存期間の延長を求める意見書を可決

平成 30 年第 3 回 定例会のあらまし

第 3 回定例会は、9 月 20 日から 10 月 19 日までの 30 日間で開会しました。

本会議初日の区長あいさつ

その後、各会派の代表議員、無会派の議員が、3 日間にわたり区政全般について質問を行いました。

今定例会では、平成 29 年度足立区一般会計等、4 会計決算を決算特別委員会で審査し、それぞれ認定しました。

その他の区長提出議案 25

主な内容

- 2 面 ● 区政を問う (各会派代表・一般質問)
- 5 面 ● 議決結果
- 6 面 ● みなさんからの請願・陳情
- 今定例会で可決した意見書 (要旨)
- 意見の分かれた案件
- 7 面 ● 決算特別委員会の討論 (要旨)
- 8 面 ● 平成 29 年度 各会計決算グラフ
- 平成 29 年度各会計決算 決算特別委員会で審査と本会議での議決
- 委員会活動
- 育児と議会活動の両立を支援します
- 区議会からのお知らせ

寄附行為の禁止

議員 (候補者等を含む。) が選挙区内にある者に対し、お歳暮・お年賀等の贈り物をするこ
とは、公職選挙法により、議員資格剥奪の罰則をもって禁止されています。
また、受け取った人も罰せられます。
年賀状 (答礼のための自筆によるものを除く。) を出すことも禁止されています。
区民の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

問

代表・一般質問を平成30年9月20日、21日、25日に開会した第3回定例会本会議で行いました。

代表・一般質問

議案の審議に先立ち、各党派を代表する議員と無党派の議員が、区政全般について質問を行い、区政執行にあたる区長をはじめ執行機関の考えを尋ねました。以下、その一部を掲載します。

足立区議会自由民主党

真に区民の安全・安心のために進むべき道程とは!?

自由民主党 吉岡 茂 議員



防犯活動拠点の早期実現を

【問】六町では、安全安心ステーション整備のため、住民との検討が進められているが、区にとって新たな取り組みであり、成功させるためには整備された後の運営が大切である。区は、安全安心ステーションの運営方法をどのように考えているのか。

また、計画では2021年度開設予定だが、地元の熱意は強く、少しでも早くできないか。

【政策経営】交番に代わる防犯機能を第一と考え、区の非常勤職員を採用し、時間を決めての常駐を考えている。地域住民の防犯活動の拠点機能や情報発信拠点としての機能も想定しており、住民が関わり、集うことができる運営方法を地域の方と今後検討していく。

また、8月の地元検討会でも、早い時期の開設要望があり、可能な限り早く開設できるように前倒しして進めていく。

自転車保険の加入促進を

【問】区内は平坦な地形であることから、日常の移動において自転車を利用する区民が非常に多い。昨年、区内で発生した交通事故件数で、自転車に関与する事故は23区でワースト2であり、小学生が関与する事故に限ればワースト1となっている。自転車利用者の保護、また、被害者を守る観点からも、自転車保険の加入促進は非常に重要であると考え。区民に対する保険制度の充実も含め、今後どのように保険の加入促進を進めていくのかの区の見解を伺う。

【都市建設】補償金額が増額される等のメリットもあることから、2019年度中の募集開始に向けて準備を進めるとともに、区民一人ひとりが自分に合った保険を選べるよう加入を促進していく。



児童虐待防止体制の充実を

【問】児童虐待が社会問題となっている。今年3月に目黒区で起きた痛ましい事件が二度と起こらないよう国、自治体、関係機関が一体となって児童虐待防止対策に取り組むとしている。区としても児童虐待にかかる相談体制を充実させていく必要があると思うが、今後、区はどのように相談支援体制・専門性の強化を図っていくのか。

【げんき】区では昨年度から相談スキル向上のため、児童相談所への職員派遣を開始しており、今年度は児童虐待等に対応する係に福祉職の常勤職員を増員した。今後は、福祉や心理の常勤専門職をさらに増員するとともに、非常勤職員についても専門性の高い人材を任用し、相談支援体制及び専門性の強化を図っていく。

幼稚園への補助で負担軽減を

【問】国では先般、幼児教育・保育の無償化の考えを示した。内容を見る限り、幼稚園よりも保育園に通園させようとする保護者が増えるのではないかとと思われる。幼稚園の各園の入園料に違いはあれど、保育園とできる限り遜色のないように補助をすべきと思うがどうか。

少子超高齢化社会の社会保障制度と医療の充実

自由民主党 白石 正輝 議員



適正な支出に対する努力を

【問】①生活保護不正受給には、厳格な対応が必要だがどうか。②生活保護費の医療扶助が増加傾向にある。ジェネリック医薬品を義務化し、医療費削減に努力すべきと思うがどうか。

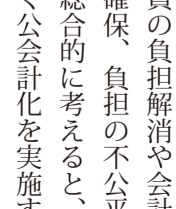
【足立福祉】①区は不正受給に対し厳格な姿勢を示し、悪質なケースは告訴を行っている。今後も、厳正に対処していく。②平成30年10月に生活保護法が改正され、ジェネリック医薬品の使用が原則と規定された。今後、使用の周知とさらなる医療費削減に努めていく。

【教育長】国の無償化を踏まえ、できる限り保護者の負担が解消されるよう検討している。

給食費については、保育園は保育料に含まれているが、幼稚園は保育料に含まれておらず、給食の外部搬入や自園調理での提供、教育の一環として一部を弁当持参とする等、様々な形態があり慎重に検討していく。

迷わない避難方法の確立と教員の負担軽減対策を!

自由民主党 藤沼 壮次 議員



防災訓練で避難場所と避難所の違いを周知せよ

【問】東日本大震災では、緊急に命を守る避難場所ではない防災センターで避難訓練を行い、津波の犠牲になった経緯がある。区でも防災訓練の会場が避難場所と誤解を与えてしまうことがないよう、避難場所と避難所の違いを周知すべきだがどうか。



【危機管理】避難訓練では一時集合場所から第一次避難所へ移動するため、誤解を与える可能性もある。正しい避難行動につ

【問】①道徳教育をする者は、中立公正が望ましい。戦後教育は、3世代にわたり自虐史観を

【問】学校給食費の公会計化について、教員の負担軽減や会計の透明性の確保、負担の不公平性の解消を総合的に考えると、なるべく早く公会計化を実施すべきだと思うがどうか。

【学校運営】公会計化の実施により負担の不公平は解消されると考えるが、未納分を公費で賄う必要がある課題が残る。しかし、教員の働き方改革は喫緊の課題と認識しており、どの手法を選択するにしても、教員の負担軽減に最も効果的・効率的な方策を採用していく。

【問】学校給食費の公会計化について、教員の負担軽減や会計の透明性の確保、負担の不公平性の解消を総合的に考えると、なるべく早く公会計化を実施すべきだと思うがどうか。

【問】①道徳教育をする者は、中立公正が望ましい。戦後教育は、3世代にわたり自虐史観を

真実の歴史教育と自衛隊を感謝し理解する足立区へ

自由民主党 せぬま 剛 議員



実態に基づいた教育指導を

【問】①道徳教育をする者は、中立公正が望ましい。戦後教育は、3世代にわたり自虐史観を

染み込ませた。かつての日本の立場が語られる今、区としても自虐史観から脱却した教育行政の柱を立て、誇りある道徳教育

代表・一般質問

本会議の録画中継を
区議会ホームページでご覧いただけます
<http://www.gikai-adachi.jp>

区政を

への意欲を示されたいがどうか。
②あらゆる災害に即応し、待機している自衛隊に、どれほどの命が救われてきたか。この自衛隊を違憲とする意見を載せた教科書を区は使っている。正しい実像・実態を教える副読本を配置し、公正な判断ができる教育現場にすべきだがどうか。

【教育指導】①誇りを感じるためには、適切な自己肯定感を持つことが不可欠であると考えている。教師が道徳教育を通じて子どもたちの心を育てていく中で、教師自身の自己肯定感も育まれ、自信や謙虚さとともに、日本人としての誇りをもって道徳教育に取り組むことができる

よう意欲をもって指導していく。
②学習指導要領を踏まえ、教科書では自衛隊の災害派遣を写真入りで紹介する等、客観的に記載されていると考えている。今後も教科書や新聞教材等を活用して自衛隊に関する偏りのない教育を行うよう、学校現場の指導を継続し、公正な判断ができる教育現場を維持していく。



足立区議会公明党

高齢者インフルエンザ接種費用の全額助成を！

公明党 佐々木 まさひろ 議員



【問】区として現在、予防接種対象者に2千500円の自己負担を求めているが、毎年接種となると高齢者の経済負担は大きい。高齢者の命を守るため、インフルエンザ予防接種費用を全額助成すべきと思うがどうか。

【衛生】区においては、インフルエンザで亡くなる方の70%が75歳以上の高齢者である。現状を踏まえて、全額助成について検討していく。

【問】国土交通省は茨城県常総市における洪水被害の反省から、ソフト面の対策としてマイ・タイムラインを提唱している。「あだち防災マップ&ガイド」の改定の際にはマイ・タイムラインの時系列という考え方も入れるべきと考えるが何う。



【危機管理】来年度発行予定の「あだち防災マップ&ガイド」

において、避難行動、経路をあらかじめ想定しておく「自主避難マップシート」とあわせ、水害発生が想定される時からの行動の時系列に記入し、自らチェックできるシートを盛り込む。

【問】現在、愛の手帳1度から3度の方までには月額1万5千500円の障がい者福祉手当が区から支給されているが、4度の方には支給されていない。23区のはほとんどで4度の方についても手当が支給されており、区でも支給すべきだがどうか。

【福祉】今後、生活介護等の通所施設整備に注力するとともに愛の手帳4度の方に対する手当の支給についても検討していく。

【問】区民交通傷害保険は区が窓口となる保険事業で、少額の保険料で入院や治療期間に応じて保険金が支払われる。

【都市建設】①補償金額が増額される等のメリットがあることから2019年度中の募集開始に向けて準備を進めるとともに、加入促進を進めていく。

【問】今後とも猛暑が続くと考えられ、抜本的対策が求められる。

①大規模改修や新築を予定している学校から体育館の冷房化を進めるべきと思うがどうか。
また、緊急の対策として体育館に大型の冷風機等の導入をすべきと思うが何う。

【教育長】①区議会、区民の皆さんからも要望をいただいております。来夏の夏に備え、緊急対策も含めて検討していく。

【問】赤ちゃんの世話の仕方や「子育ての昔と今」等、世代間の認識の違いを埋める内容を記載した祖父母手帳が全国の自治体で配られている。区でも作成し、配布してはどうか。

また、ホームページに掲載してダウンロードできるようにしてはどうか。あわせて何う。



【子ども】現在、先行自治体の例を参考に孫育て手帳の発行に向けて準備を進めている。

また、発行に当たっては、印刷物として配布するだけでなく、ホームページからダウンロードできるようにしていく。

人との繋がりを持てる、新たな地域社会の構築を！

公明党 たがた直昭 議員



【問】繋がりやコミュニティは、誰かに指示されてできるものではない。地域を支えてきた人の思い等を踏まえつつ、柔軟な対応ができることが本来の姿である。区は、新たな地域人材の発掘や地域活動に向けた支援についてどの様に考えているのか。

【問】住区センターは、利用者数が多ければ多いほど地域の活動が活性化していると言われている。区としてさらなる後押しが出来るような対応策についてどの様に考えているのか何う。



【地域】新住民が増える中においては、これまでのコミュニティを維持するのも難しくなっている。

一方、災害対策等を共通課題として、町会・自治会の加入に

新病院予定地周辺の交通環境整備と受動喫煙について

公明党 大竹 さよこ 議員



【問】都の受動喫煙防止条例が施行され、飲食店での喫煙が制限されることから、喫煙者の喫煙場所確保のため、現状の喫煙所の整備が必要だがどうか。

【地域】本年8月に庁内関係所管と「公衆喫煙所のあり方等検討プロジェクトチーム」を立ち上げ、適切な配置について取り組んでいく方針を定めた。今後、指定喫煙所の改良等、

あらゆる方法をプロジェクトチームで検討していく。

東京女子医科大学東医療センター予定期のまちづくりの動向は

【問】①新病院に乗り入れをするバス路線の新設や経路変更の進捗状況はどうか。

特に新田・宮城を通って新病院へと循環するバス路線について検討すべきだがどうか。

②バスの乗降場所について、利用者によりやさしい環境を整備すべきだがどうか。

日本共産党足立区議団

貧困と格差をただし、より

分配に力を入れる区政へ

日本共産党 針谷 みきお 議員



分配に力を入れる区政運営を

【問】総合規制改革会議で、残業代ゼロ等を推進してきた宮内氏は「歴代政権は巨額の国債を発行し、あらゆる経済対策をとったが社会の仕組みが時代に合わなくなり、貧富の格差が亀裂を生んでいる。次の時代はより分配に力を入れた社会を目指すべき」と主張し、話題を呼んだ。

【区長】厳密に言えば区が独自に再分配機能を高めることは困難と考えるが、税金をどのように使うかという広い意味では、対象、手法等、様々な意見を幅広く伺い、単なるバラマキは厳に戒めつつ、安定した財政運営に配慮し、適切に進めていく。

一刻も早く体育館にエアコンを

【都市建設】①バス乗り入れの可能性を示しているのは4事業者7路線である。今後は経路等、具体的な検討を進めていく。

新田・宮城を通って東京女子医科大学東医療センターへと循環するバス路線については、事業者から新規路線が示されている。この路線を実現するために運行形態や経路についても協議していく。

②バリアフリーに配慮した利用しやすい施設を整備していく。

【総務】昨年度見直しを行い、登録業者の得意分野を一覧表にまとめ、選択の参考にする。また、下半期から毎月全庁の活用実績を各課に配信している。

【問】体育館は地域の活動拠点や避難所等の機能を有している。猛暑による熱中症対策は重要課題であり、必要性は高まっている。体育館の機能充実を図るとともに、児童・生徒の十分な体調管理を行う観点から、緊急に整備すべきだがどうか。

【学校運営】来夏に備え、緊急対策も含めて検討している。エアコンに限らず、学校施設の財源確保は重要課題として認識しており、国や都からより多くの補助を得られるよう求めていく。



小規模工事契約希望者登録制度の充実で区内活性化を図れ

【問】登録業者への発注件数は平成29年が1千410件中65件であり、制度が有効に機能しているとは言いえない。発注件数を鴻巣市のように30%規模に引き上げる目標を持つべきであり、発注する各課が登録業者から相見積りを取る等、契約課がさらに働きかけるべきだがどうか。

【総務】昨年度見直しを行い、登録業者の得意分野を一覧表にまとめ、選択の参考にする。また、下半期から毎月全庁の活用実績を各課に配信している。

【問】区立小・中学校には35人学級が必要である。わが党は全国で初めて区独自の教員採用条例案を提案するため、23区人事委員会に意見を求めた。本来であれば、区長提案で実施するよう区長にも緊急要望を行ったが、その意思は確認できなかった。改めて伺うが、区として独自の条例を制定すべきだがどうか。

【教育指導】国や都の制度で既に小学1・2年生と中学1年生で実現しており、少人数指導を目的として都の加配教員等も、ほぼ全校に配置されている。こうした中、人材確保、将来的な財政負担、勤務条件の整備等の課題があるため、現時点では条例を制定する考えはない。

【問】区議会が全会一致で車両

を増結し、混雑緩和を求める意見書を提出したが、都交通局は編成増の意思はないと答弁している。来年度見直し予定の都経営計画に盛り込まれるよう都営計画に意見書の内容を反映す

誰もが当たり前前に健康で文化的な生活ができるように

日本共産党 浅子 けい子 議員



住宅確保要配慮者への支援を

【問】住生活基本計画で急増が予測される要配慮者に対応するセーフティネットのあり方を検討する必要があります。具体的な見直しはなぜか。

また、入居促進等を支えるため、居住支援協議会の設置を具体化し、進めるべきだがどうか。

【建築】どちらも早期検討を要する重要課題である。7月に「高齢者の住まいに関する勉強会」を立ち上げ、貸主側の悩み等の課題を把握した。今後、他自治体の取り組み等を検証し、具体的な方針を明らかにする。

よう求めるべきだがどうか。

【都市建設】意見書の内容を踏まえ、混雑緩和対策等について経営計画に盛り込まれるよう都交通局に要望していく。

北千住駅東口まちづくり構想の見直しと再開発に対する考えは

【問】①まちづくりが道半ばであるが、なぜ3千500万円かけて委託し、構想見直しを行うのか。②構想策定中は民間再開発にストップをかけるべきだがどうか。また、区は再開発を良しとし、追認する考えなのか。

③再開発まちづくりニュースを発行するとともに、住民に説明会を行うべきだがどうか。

【市街地】①大学開学等がされ、地域の変化がみられるため、コンサルタント委託を実施し、今後の方向性等を深めていく。

②再開発準備組合は任意団体で、自主的に検討等を行っているため、ストップはかけられない。また、再開発を良しとするわけでも追認するわけでもない。③必要があれば実施していく。なお、構想見直しに関する説明会等は実施する。



足立区議会立憲・民主の会

都立中川公園の防災拠点

整備強化を都に求めよ!



立憲・民主の会 鈴木 あきら 議員

都へ防災拠点整備の働きかけを

【問】①中川公園覆蓋化の上部は、防災拠点とする以上、大型・重機車両の利用も可能とし、ヘリポートも整備することを求めると同時に、都に積極的に働きかけるべきだがどうか。

【危機管理】①構造上制限があり、大型車両の乗り入れ等の可否は部材等の検討が必要とされ、今後、都と協議していく。

【都市建設】②中川公園整備検討協議会から区に提出された要望書の内容を踏まえ、平成29年12月に都に対して要望書を提出した。この中には、スポーツ施設・防災施設・多目的広場等の提案が含まれており、屋根付多目的広場については、施設の重さに制限があり、条件的に厳しいが、協議会で地域の皆さんの意見も伺っていく。

【問】区学童保育室の待機児童の状況について、見解を伺う。②生活保護家庭3歳未満の子どもが教養文化的な体験機会を逸しないよう、要望するがどうか。

【地域】①平成27年度に対象が小学3年生から小学6年生に広

【問】老朽化やユニバーサル非対応の現状から、建替えや移転を含む検討が必要だがどうか。

【地域】建築後39年、大規模改修から23年が経過し、建替えもしくは大規模な改修が必要な時期にきている。移転の可否や、改修方法について、区公共施設等総合管理計画を踏まえて検討していく。



給食・教材費を区で徴収せよ

【問】学校給食費の公会計化を実施すると同時に教材費等も一括徴収をすべきだがどうか。

【教育長】徴収管理に加え、契約等を行う電算システムの検討とともに、教育委員会の組織体制等を含め、効果やコストを総合的に判断する必要がある。その可否の方針は年内にまとめる予定である。

子どもたちに居場所とチャンス・水害に強い街づくり

立憲・民主の会 米山 やすし 議員



さらなる子ども施策の充実を

【問】①区学童保育室の待機児童の状況について、見解を伺う。

【足立福祉】②無料イベント等の情報が掲載中の区ホームページの子育て役立ち便利帳の紹介や3歳未満を対象とする事業実施者に参加優先枠設定を働きか

け、機会を逸しないよう努める。

替え事業の状況を伺う。

②千住関屋ポンプ所工事の議会等への定期報告を望むかどうか。



水害・治水対策に全力を尽くせ

【問】①京成本線荒川橋梁架け替え事業の状況を伺う。

無 派

閉鎖的な

教育委員会を拓く

無 派

へんみ 圭 二 議員



区民から実態見えぬ教育委員会

【問】①教科書採択で傍聴者が増える8月を除いた昨年度の定例会の平均傍聴者数を問う。

②定例会の最も短かった会議時間と平均会議時間を問う。

③定例会の生中継や録画配信を行うべきかどうか。

④土日や夜間、各地域に出張し、定例会を開催すべきかどうか。

⑤写真や連絡先等、委員の情報公開を進めることは出来ないか。

⑥より多くの区民と教育委員が触れ合える場を設けてはどうか。

【教育指導】①約1名である。

②最短28分、平均49分であった。

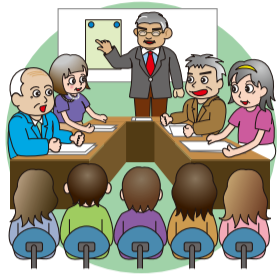
③直ちに実現することはできないが、必要性等は認識している。

④傍聴機会増になる一方、時間や経費等の課題も多いと考える。

⑤さらなる情報公開に努める。

【都市建設】①2019年度以降、用地補償契約等の締結に向けて関係権利者と個別折衝予定で、架け替えは工事着手後、約16年かかると聞いている。

【問】①PDF等が多く二次利用しづらい。CSV等に改めるとともにデータをブラッシュアップすべきかどうか。



情報公開レベルに留まっているオープンデータの改善を

【問】①PDF等が多く二次利用しづらい。CSV等に改めるとともにデータをブラッシュアップすべきかどうか。

②オープンデータを活用したサービスを募集するコンテスト等を開催すべきかどうか。

【政策経営】①データ加工作業等の課題整理をしつつ、順次データ変換し、活用促進していく。

②平成27年度に郷土博物館のデータを使用し、コンテストを実施した。引き続き他自治体の情報を収集し、可能性を研究する。

第3回定例会での議決結果

区長提出議案

認定したもの

決算

◇平成29年度足立区一般会計歳入歳出決算

◇平成29年度足立区国民健康保険特別会計歳入歳出決算

◇平成29年度足立区介護保険特別会計歳入歳出決算

◇平成29年度足立区後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

◇平成30年度足立区一般会計補正予算(第2号)

可決したもの

補正予算

◇平成30年度足立区一般会計補正予算(第2号)

◇平成30年度足立区介護保険特別会計補正予算(第1号)

◇平成30年度足立区後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

◇平成30年度足立区後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

◇平成30年度足立区後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

◇平成30年度足立区後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

◇平成30年度足立区後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

◇平成30年度足立区後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

◇平成30年度足立区後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

◇平成30年度足立区後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ146億7千305万8千円とするもの

条例

◇足立区議会議員及び足立区長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例

◇足立区区立図書館条例の一部を改正する条例

◇足立区区立図書館条例の一部を改正する条例

◇足立区区立図書館条例の一部を改正する条例

◇足立区区立図書館条例の一部を改正する条例

◇足立区区立図書館条例の一部を改正する条例

◇足立区区立図書館条例の一部を改正する条例

◇足立区区立図書館条例の一部を改正する条例

◇足立区区立図書館条例の一部を改正する条例

◇足立区区立図書館条例の一部を改正する条例

◇足立区区立図書館条例の一部を改正する条例

◇足立区区立図書館条例の一部を改正する条例

◇足立区区立図書館条例の一部を改正する条例

◇足立区区立図書館条例の一部を改正する条例

◇足立区区立図書館条例の一部を改正する条例

◇足立区区立図書館条例の一部を改正する条例

◇足立区区立図書館条例の一部を改正する条例

◇足立区区立図書館条例の一部を改正する条例

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の改正に伴い、規定を整備するもの

◇足立区障がい福祉センターあり方検討委員会設置条例

◇足立区長等の給料の特例に関する条例

◇足立区長等の給料の特例に関する条例

◇足立区長等の給料の特例に関する条例

◇足立区長等の給料の特例に関する条例

◇足立区長等の給料の特例に関する条例

◇足立区長等の給料の特例に関する条例

◇足立区長等の給料の特例に関する条例

◇足立区長等の給料の特例に関する条例

◇足立区長等の給料の特例に関する条例

◇足立区長等の給料の特例に関する条例

◇足立区長等の給料の特例に関する条例

◇足立区長等の給料の特例に関する条例

◇足立区長等の給料の特例に関する条例

◇足立区長等の給料の特例に関する条例

◇足立区長等の給料の特例に関する条例

◇足立区長等の給料の特例に関する条例

◇足立区長等の給料の特例に関する条例

◇足立区長等の給料の特例に関する条例

理者の指定について

文化芸術劇場の指定管理者を指定するもの

◇災害備蓄用アルファ化米等の購入及び入れ替えについて

◇災害備蓄用アルファ化米等の購入及び入れ替えについて

◇災害備蓄用アルファ化米等の購入及び入れ替えについて

◇災害備蓄用アルファ化米等の購入及び入れ替えについて

◇災害備蓄用アルファ化米等の購入及び入れ替えについて

◇災害備蓄用アルファ化米等の購入及び入れ替えについて

◇災害備蓄用アルファ化米等の購入及び入れ替えについて

◇災害備蓄用アルファ化米等の購入及び入れ替えについて

◇災害備蓄用アルファ化米等の購入及び入れ替えについて

◇災害備蓄用アルファ化米等の購入及び入れ替えについて

◇災害備蓄用アルファ化米等の購入及び入れ替えについて

◇災害備蓄用アルファ化米等の購入及び入れ替えについて

◇災害備蓄用アルファ化米等の購入及び入れ替えについて

◇災害備蓄用アルファ化米等の購入及び入れ替えについて

◇災害備蓄用アルファ化米等の購入及び入れ替えについて

◇災害備蓄用アルファ化米等の購入及び入れ替えについて

◇災害備蓄用アルファ化米等の購入及び入れ替えについて

◇災害備蓄用アルファ化米等の購入及び入れ替えについて

平成29年8月29日から江北公園駐車場の使用料相当額を支払わない相手方に対し、土地の明渡し等を請求するもの

◇和解について

生業資金貸付金の償還方法について和解するもの

◇損害賠償額の決定について

平成27年4月から8月までの間の生活保護の額を過少に算定した結果、不足分相当額の損害を与えたことに対する損害賠償額(8万7千650円)の決定

◇議決を得た契約の変更

千寿小学校改築電気設備工事

放棄した債権

信用保証料補助金返還金

◇平成29年度決算に基づく足立区の健全化判断比率の報告

実質赤字比率 1%

実質公債費比率 2.4%

将来負担比率 1%

※実質赤字額又は連結実質赤字額がない場合及び実質公債費比率又は将来負担比率が算定されない場合「-」で表示

◇訴えの提起について

生業資金貸付金の償還金を滞納した相手方に対し、未償還金の支払等を請求するもの

◇和解について

応急小口資金貸付金の償還方法について和解するもの

◇損害賠償額の決定について

相手側が保木間二丁目2番

特別区道路線の認定

所在地	幅員(m)	延長(m)
関原一丁目地内	6.58	60.68
	8.55	
東六月町地内	5.00	80.62

報告

◇訴えの提起について

先区道を通行中、区が管理する道路上のわだち堀れにより転倒し、バイクが損傷したことに對する損害賠償額(4万円)の決定

和解について
区立伊興小学校内で発生した事故について和解するもの
ほか3件

損害賠償額の決定について
相手側が足立区栗原四丁目24番先区道を歩行中、区が管理する道路上の舗装剥離により転倒し、前歯2本を損傷する傷害を負わせたことに對する損害賠償額(20万7千360円)の決定

諮問

人権擁護委員候補者の推薦
人権擁護委員候補者として近藤悦子氏、竹中綺子氏を法務大臣に推薦するため、区長から議会の意見を求められ、異議ないものと答申しました。

議員提出議案

可決したもの

住民票の除票及び戸籍の附票の除票の保存期間の延長を求める意見書

児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書
(意見書要旨は別掲)

継続審査としたもの

足立区子どもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例(平成28年提出)

子どもの医療費助成が受けられる年齢を拡大するもの
足立区公共交通空白地等及び移動制約者に係る生活交通の確保に関する条例

公共交通空白地等及び移動制約者に係る生活交通を確保し、もって活力ある地域社会の再生に寄与するためのもの
足立区障がい特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例

全ての区民が相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現するもの
足立区の未来を担う子どもの権利と支援に関する条例
子どもの権利を保障し、子どもを支援する施策を推進するためのもの

みなさんからの請願・陳情

採択したもの

地域住民と子どもの環境を守
ることを求める陳情

不採択としたもの

竹ノ塚駅―梅島駅間高架化についての陳情

竹ノ塚駅付近鉄道高架化の工事費の増額分を東武鉄道株式会社に全額負担させること、国に連続立体交差化事業に係る補助金制度の改正を求める意見書の提出を求める陳情
―いずれも陳情の主旨に沿いかねる

今定例会で可決した意見書(要旨)

いずれも平成30年10月19日に議決し、関係機関に提出しました。

住民票の除票及び戸籍の附票の除票の保存期間の延長を求める意見書
足立区議会は国会及び政府に對し、住民票の除票等の保存期間を延長することで、所有者不明土地だけでなく、空き家問題における所有者の特定が一層容易となるよう、保存する情報管理体制の確保を含め、左記事項の実現を強く求めるものである。

記
1 住民基本台帳法施行令第34条第1項に定める住民票の除票及び戸籍の附票の除票の保存期間を、現行の5年から150年程度に延長すること。
2 住民基本台帳法施行令改正までの期間、各自治体において除票等の廃棄が進行しないよう、廃棄作業を当面凍結するよう各自治体に通達すること。

(衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、法務大臣、農林水産大臣、国土交通大臣あて)
足立区議会は政府に對し、痛ましい事件が二度と繰り返されないためにも、児童虐待防止対策のさらなる強化に向け、左記事項の実現を強く求めるものである。

記
1 平成28年度に政府が策定した「児童相談所強化プラン」を拡充し、区市町村における児童虐待防止体制の強化と、そのために必要な財源を速やかに講ずること。
2 児童相談所は関連する機関との連携を強化して、子ども

の問題について取り組むこと。具体的には、児童相談所と区市町村の役割分担をさらに明確にするとともに、施設やNPO等民間機関・団体や他の行政機関等との連携を強化して役割分担・協働を加速する「児童相談体制改革」を行うこと。
3 児童相談所間および児童相談所と区市町村の情報共有については、仮に転居があったとしても、危機感や支援状況が確かかつ迅速に引き継げるよう、全国共通ルールを定めるとともに、全国からアクセスできるシステムを整備すること。
また、児童相談所と警察との間に必要な情報をお互いが精査したうえで、共有できるシステムを新たに構築すること。

4 児童相談所全国共通ダイヤル「189」を児童虐待通告に限定し、児童相談所の相談できる窓口につながるまでの間に未だ半数以上の電話が切れている実態を速やかに検証・分析し、その結果を踏まえ、児童相談所への通告の無料化の検討を含め、運用の改善に努めること。
5 保育所、幼稚園や学校と情報共有を図ること。いじめ防止対策と同様、小中学校の校務分掌に虐待対応を位置づけ、対応する組織を明確化するとともに、SSWを中心とした学校における虐待対応体制を整備すること。
(内閣総理大臣、総務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、国家公安委員会委員長あて)

意見の分かれた案件(35件中14件)

―上記以外の案件(21件)は、全会一致で可決されました。

※自民…足立区議会自由民主党 公明…足立区議会公明党 共産…日本共産党足立区議団 立民…足立区議会立憲・民主の会 無派…無会派 ※○…賛成 △…継続 ×…反対 欠…欠席 除…除斥 退…退出

Table with columns for resolution results (議決結果) and party members (議員提出) across various council items (議案件名). The table tracks the voting status of 18 council members from the Liberal Democratic Party, Komei Party, Communist Party, and Independent Party.

足立区議会 自由民主党

討論者



新井 宏 議員

平成29年度予算は、「今、協働のその先へ。協創への1st(ファースト)ステップ」と銘打ち、区を取り組むべき施策を4つの視点、7つの柱立て、16の施策群によって体系的に整理した新基本計画の初年度として、「治安、学力、健康、貧困の連鎖」の4つのボトルネック的課題の解消や、少子・超高齢社会の進展などの社会状況の変化から生じる複雑・困難な課題解決のため、将来の区の姿を視野に入れ、持続可能な行政運営を行うための予算であった。

平成29年度決算は、一般会計で歳入総額2千796億円余、対前年度比79億円余、2.7%の減額。歳出総額は2千720億円余、対前年度比74億円余で、6.6%の減額となった。決算全体としては、経常収支比率は77.6%、対前年度比1.1ポイント増加したものの、4年

足立区議会 公明党

討論者



上 隆 委員
刈 委

平成29年度予算は、ボトルネック的課題には一定の成果が表れた年であった。

子どもの学力は、授業がわかる、勉強が好きと答える子どもの割合も増えた。健康面では、ベジタベライフによる糖尿病アクションプラン等により健康寿命では都と2歳ほどあった差が縮まった。子どもの貧困対策では、居場所を兼ねた学習支援は拡大し、子ども食堂についても開設は伸びている。こうした事業は、我が党の要望が数多く反映され区民の生活向上につながる事業であり、高く評価するものである。

決算状況を見ると、歳入は好調な企業業績に支えられ財政調整交付金は1千4億円、特別区税は納税義務者の増等により7億円の増の479億円となった。しかし、財政調整交付金は景況状況に左右され、地方法人住民

連続で80%を下回り、実質収支額73億円余と、引き続き適正な水準の範囲内を推移している。

また、特別区民税の収納率は94.6%、対前年度比2.0ポイント増加するなど、区税や各種保険料などの収納率の向上や滞納対策の取り組みも評価に値するものである。

しかし、自主財源の根元たるべき区税収入は、ここ数年増加傾向ではあるが、自主財源の安定的な確保という点では、引き続き厳しい状況である。財政指標は改善しているものの、内容は厳しいものと受け止めるを得ない。今後、自主財源の安定的な確保に向けて積極的に邁進し、より効率的・効果的な行政運営に全庁挙げて取り組んでいけるよう要望する。

最後に、今後とも、さらに魅力あふれる足立区を築き上げていくことを期待するとともに、次年度の予算編成に当たっては、様々な提案及び要望事項を尊重し、その実現に向けて努力されるよう要望する。

税の国教化もあり、今後は楽観できない状況が続く。歳出においては、扶助費は前年に比べ15億円増の1千51億円と高齢化の進展により更なる増加は避けられない。このような厳しい状況から行政改革の推進とともに、AI化や協創の深化等も含め改革を進めていかなくてはならない。

本年は大阪北部地震、西日本豪雨、北海道胆振東部地震、連続した大型台風等「災害多発時代」に入っており、災害対策は最重要課題として取り組んでいただきたい。

本決算特別委員会が要望のあった高齢者インフルエンザ予防接種費用の助成、小・中学校の体育館と調理室の冷房化の推進、登下校中の子どもの安全安心見守りネットワーク、いじめ・不登校対策、障がい者施策の推進等、区政全般に渡り多くの提案・要望、指摘事項については、区民の声として真摯に受け止め、平成31年度予算に反映し、どこまでも区民の目線に立って区政の執行に当たるように要望する。

区分	足立区議会 自由民主党	足立区議会 公明党	日本共産党 足立区議団	足立区議会 立憲・民主の会
一般会計	認定	認定	不認定	認定
国民健康保険特別会計	認定	認定	不認定	認定
介護保険特別会計	認定	認定	不認定	認定
後期高齢者医療特別会計	認定	認定	不認定	認定

決算特別委員会の 討論(要旨)



決算特別委員会委員(21名)

◎委員長 / ○副委員長

- た だ 太 郎 委員長
- 佐々木 まさひこ 副委員長
- ぬかが 和子 委員
- 長 興 祐 委員
- 伊藤 のぶゆき 委員
- 高 山 のぶゆき 委員
- 吉岡 茂 委員
- 新井 ひでお 委員
- せぬま 智恵子 委員
- さ の 智恵子 委員
- 吉田 こうじ 委員
- たが 直隆 委員
- 前野 和男 委員
- 山 中 ちえ子 委員
- 西の原 えみ子 委員
- はたの 昭彦 委員
- おぐら 修平 委員
- 米山 やすし 委員
- 土屋 のりこ 委員
- 市川 おさと 委員

日本共産党 足立区議団

討論者



和子 ぬかが 委員

介護保険特別会計は、補正予算で一般会計に39億円も繰り戻す結果となった。7億6千万円あれば値上げをしないで済んだのに、23区で一番高い保険料にしたことを考えれば、到底容認できるものではない。

一般会計決算での基金は、史上空前の1千523億円。基金そのものは否定しないが、本来やるべき施策を行わず、区民に負担を押し付ける姿勢とあり方は認められない。

子ども分野は、学童保育の計画的増設を拒否、新たな公立保育園潰しに進もうとし、適正規模の高野小さえも統廃合し、新田学園第二校舎は一堂に会して避難できないのに安全だと強弁する姿勢、学力テストは実質的に通過率でランク付けし、子どもをテスト漬けにする実態も改めようとする。いまだに高放射線量が区民に測定・通知

されているのに、通報がなければ動こうとせず、真に子どもたちの健康・安全を守るという姿勢とはいえない。

また、江東五区の大規模水害広域避難計画では自助を強調し、区民の心配は増してもどこに避難したらいいかも分からない。外部委託では、事業者が決まらない危険性に直面し、事業の継続性が懸念され、綾瀬や千住のまちづくりでも大手デベロッパの都合で住民の願い等が犠牲になっている。さらに、災害や熱中症対策、介護事業所の定着支援、障害者虐待、医療的ケア児、児童虐待、教員多忙化対策や違法生コン工場、西新井駅改善等は待ったなしである。

国民健康保険特別会計は、均等割値上げにより平均3千円値上げ、後期高齢者医療特別会計も特例軽減の廃止により高齢者に負担増が押し付けられた結果であり、容認できるものではない。生存権を脅かすような保険料負担のあり方に抗し、真に区民に寄り添った姿勢に立つことを強く求める。

足立区議会 立憲民主の会

討論者



や す し 米山 委員

区は、特別区民税や各種交付金の回復傾向のもと、協創理念に基づく足立区地区環境整備計画、住生活基本計画、地域包括ケアシステムビジョン等の各種の行政計画の策定に取り組むとともに、子どもの貧困対策「未来へつなぐ、あだちプロジェクト」、健康寿命延伸、孤立ゼロプロジェクト、区内各所のエリアデザイン、施設義務化等自転車盗対策、学校トイレ改修や特別支援教室設置、東京女子医大東医療センター建設の条件整備、鉄道立体化等の事業に着実に取り組んだことを高く評価する。

その一方で、「協創」が子ども食堂のネットワーク化や千住の空き家対策にとどまらず、まちづくりや大病院の建設、地域包括ケアシステムの深化、学校跡地の利活用等、より多くの区の課題を解決するため

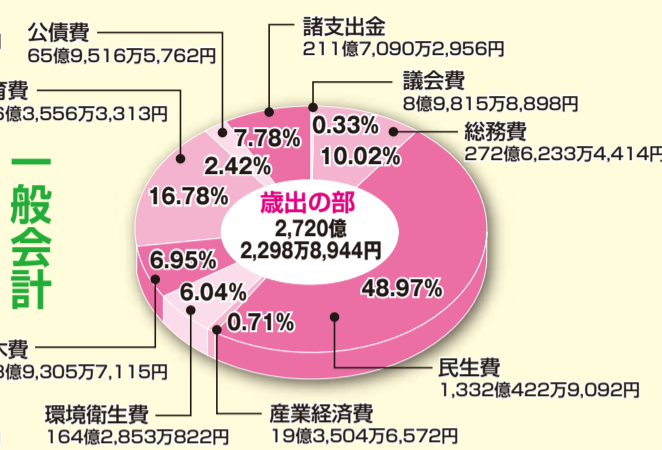
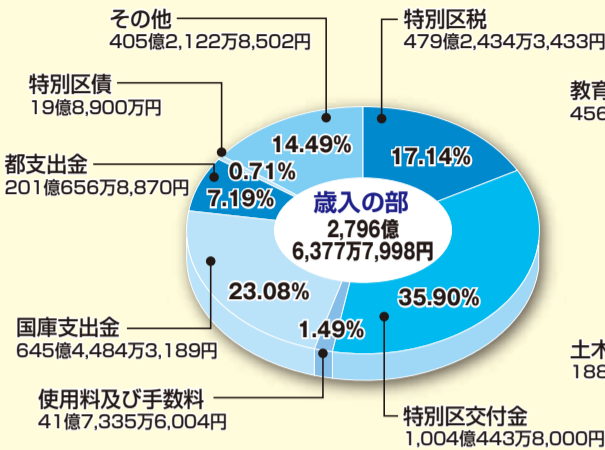
の理念を手法としてさらに広げること

を期待する。また、統一的な基準による決算財務書類を作成していることは評価するが、財調基金の増減のみを反映させる実質単年度収支は指標としての限界があり、今後6年間で公共施設更新等に1千132億円を取り崩す予定で積み立てた基金については、より丁寧な説明手法の工夫と中期財政計画への実質的な反映を望む。

私たち党派からは、学校体育館へのエアコン設置、学童保育の待機解消、地下鉄8号線沿線開発、指定管理施設の防災対策、区育英資金の意義、先進安全自動車への助成、協創についての取組み推進、国民健康保険の滞納対策、子ども議会の評価、がん検診の受診率向上、各種の区民相談の周知福祉事務所の困窮者への対応等について指摘した。今後の区政運営や来年度の予算編成、さらには職員一人ひとりの接遇サービス向上に反映するよう求め、討論とする。

平成29年度 各会計決算

区分	29年度	28年度	増減額	増減率	
一般会計	歳入総額	279,663,777千円	287,596,046千円	△7,932,269千円	△2.8%
	歳出総額	272,022,988千円	279,453,347千円	△7,430,359千円	△2.7%
国民健康保険特別会計	歳入総額	89,048,025千円	93,706,421千円	△4,658,396千円	△5.0%
	歳出総額	87,314,122千円	91,755,886千円	△4,441,764千円	△4.8%
介護保険特別会計	歳入総額	55,296,583千円	52,372,393千円	2,924,190千円	5.6%
	歳出総額	54,051,746千円	50,954,187千円	3,097,559千円	6.1%
後期高齢者医療特別会計	歳入総額	14,199,279千円	13,652,927千円	546,352千円	4.0%
	歳出総額	14,072,871千円	13,548,794千円	524,077千円	3.9%



一般会計 歳入の主なもの

特別区税	区民のみなさんから区へ納められた税金 特別区民税、軽自動車税など
特別区交付金	都が課税する固定資産税などを原資にし、都と23区間で財源の均衡調整を図る交付金
国庫支出金 都支出金	特定の事業や使いみちのために、国や都から交付される補助金など

一般会計 歳出の主なもの

総務費	災害対策や選挙、広報、町会・自治会活動支援に関する経費
民生費	子育て支援、高齢者施策、生活保護などの福祉に関する経費
土木費	道路や公園の整備に関する経費
教育費	学力向上施策や校舎整備、幼稚園補助、生涯学習に関する経費

委員会活動

委員会名	日程	主な内容(件数)			
		審査 議案	陳情 請願	報告	その他
総務委員会	8月20日(月)	3	3	6	
	9月26日(水)	11	3	5	10
	10月19日(金)	3			
区民委員会	8月21日(火)		4	8	
	9月27日(木)	3	4	9	
産業環境委員会	8月21日(火)		1	7	
	10月12日(金)		1	6	
厚生委員会	8月22日(水)	1	12	13	
	10月12日(金)	3	12	6	
建設委員会	8月23日(木)	1	4	14	
	10月15日(月)	5	4	15	陳情の取下げ 1件
	10月19日(金)	1			
文教委員会	8月23日(木)	1	4	8	
	10月15日(月)	3	1	4	8
議会運営委員会	8月31日(金)		2		第3回定例会 について
	9月19日(水)				
	9月28日(金)		2		
	10月18日(木)				
交通網・都市基盤整備 調査特別委員会	8月24日(金)		2	4	
	10月16日(火)		1	4	
待機児童・子どもの貧困対策 調査特別委員会	8月30日(木)		3	8	
	10月16日(火)		3	4	
災害・オウム対策 調査特別委員会	8月28日(火)	1	3	1	
	10月17日(水)	1	3	3	
エリアデザイン 調査特別委員会	8月28日(火)		1	7	
	10月17日(水)		1	6	

平成29年度各会計決算 決算特別委員会での審査と本会議での議決

今定例会に区長から、平成29年度「一般会計」「国民健康保険特別会計」「介護保険特別会計」「後期高齢者医療特別会計」の歳入歳出決算についての議案が提出されました。

議会は、決算特別委員会を設け、10月2日から11日までに6日間審査を行いました。

決算の概要

平成29年度予算は、「今、協働の先へ。協創への1st ステップ」と銘打ち「ひとくらし」「まち」「行財政」の4つの視点で体系的に見直し、新しい基本計画のスタートを切り、着実な施策展開を図るための予算として編成されました。こうした方針に基づき、予算が執行された結果、一般会計

は、歳入で2千796億6千377万7千998円、歳出で2千720億2千298万8千944円となり、前年度比で歳入は2.76%の減、歳出は2.66%の減となりました。

普通会計決算では、実質収支は約73億9千100万円、前年度に比べ約5千400万円の減となり、経常収支比率は77.6%で、前年度に比べ1.1ポイント上昇したものの、4年連続で80%を下回りました。

健全化判断比率については、基準に対し特に問題となることはありませんでした。

審査経過

予算の執行が適正かつ効率的に行われたかどうか、また、施策や事業の達成度、今後改善を要する点は何かなどに視点を置き、各委員がそれぞれの立場で

多方面かつ細部にわたり活発な質疑を展開し、慎重なる審査が尽くされました。

審査結果

10月11日に質疑を終了し、各会派の討論及び無党派議員の意見表明の後、採決しました。

その結果、平成29年度「一般会計」「国民健康保険特別会計」「介護保険特別会計」「後期高齢者医療特別会計」歳入歳出決算については、いずれも挙手多数により認定すべきものと決し、審査を終了しました。

(討論の要旨を7面に掲載)

本会議での議決結果

10月19日の本会議において、ただ太郎委員長が、本特別委員会での審査結果を報告しました。その後採決を行い、委員会の決定のとおり認定しました。

足立区議会は育児と議会活動の両立支援に取り組みます

- 議員・傍聴者のための託児室**
託児が必要な議員・傍聴者のために、議会棟内の1室を託児室として活用し、本会議・委員会を傍聴できるようにします。
- 議員が会議に出席する際の保育**
研修会・議員連盟等の一部の会議について、子どもを同伴して出席できるようにします。
- 議員が他自治体へ視察する際の子どもの同伴及び同行者の宿泊**
視察の際、自費でベビーシッターを確保し、子ども・ベビーシッターの宿泊・交通費等も賄う等の対応をとることにより、子どもと一緒に連れての移動や宿泊等をできるようにします。
※調査の際は子どもの同伴はできません。
- ハラスメント防止に関すること**
研修を実施し、妊娠・出産・育児中の議員が活動しやすい環境を整えます。



区議会からのお知らせ

決算特別委員会インターネット生中継・録画配信

平成30年決算特別委員会のインターネット生中継を行いました。

録画映像が下記URLとQRコードからご覧いただけます。

また、スマートフォン・タブレットでも視聴が可能です。

インターネット生中継は、平成31年予算特別委員会(平成31年3月開催予定)でも実施予定です。



アドレス:

http://gijiroku.gikai-adachi.jp/video/g07_Video2_Search.asp